

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

お客様本位の精神で安全・確実な業務遂行により、社会インフラの創造をととして社会に貢献する

連結売上高
2,304億円

連結営業利益
176億円

② 中長期の経営戦略

1. 安全・品質レベル向上

お客様・工事従事者の安全確保と質の高い成果物提供。リスク管理体制強化と法令遵守で信頼構築

2. 挑戦する風土づくり

既成概念打破し自ら考え行動する風土醸成。新たな価値創出と飛躍を推進

3. 人材確保と施工体制強化

人材確保を重点に、社員成長実感と『チームNDK』の実行力強化。協力会社への支援推進

4. 生産性向上と働き方改革

DX実践と生産性投資で成長実現。働きやすい環境整備で従業員エンゲージメント向上

③ 対処すべき課題

① 受注拡大への対応

- ・ 鉄道電気工事：JR各社からの受注確保と公営鉄道等への営業拡大
- ・ 一般電気工事：大型再開発工事とデータセンター建設需要への対応
- ・ 情報通信工事：ネットワークインフラとインフラシェア事業の拡大

② マクロ経済環境への対応

- ・ 物価上昇の消費マインド低下への影響を注視
- ・ アメリカ政策動向と金融資本市場変動への対応
- ・ 国内公共投資の堅調推移を活用した事業推進

③ 競争力強化

- ・ コスト競争力の強化と新規事業開発
- ・ 既存建物老朽化更新工事への営業展開
- ・ ZEB技術を基に再生可能エネルギー提案営業強化

面接で使えるポイント

- ・ 2032年3月期の実現に向けた『日本電設3ヶ年経営計画2024』で『飛躍への挑戦』を掲げる中での新規事業開発に携わる機会
- ・ 東日本旅客鉄道をはじめJR各社との関係構築に参画し、安全・安定輸送を支える社会インフラ構築に貢献
- ・ データセンターなど増加する建設需要分野や脱炭素社会実現に向けた再生可能エネルギー事業の拡大に取り組む

証券コード 1950

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに

1942年に設立された大手電気工事企業

主力事業・セグメント

・建設業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・営業利益率93.2%と高い収益性

・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
253億円営業利益率
93.2%財務健康度
62点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 60.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収

895万円

建設業内 47位/140社

平均年齢

42.8歳

建設業内 81位/140社

平均勤続

16.7年

建設業内 53位/140社

女性管理職

1.2%

建設業内 96位/112社

男性育休

76.7%

建設業内 53位/104社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 日本電設工業(株)【1950】：決算情報

